

第59期 定時株主総会

第59期 事業報告

(2022年4月1日 ~ 2023年3月31日)

《日本経済》

■先行き不透明な状況で推移

(ウイズコロナによる景気回復が期待されるも、物価上昇や世界的な金融引締めによる景気下押しリスクも台頭)

《食品業界》

■厳しい経営環境で推移

(資源価格の高騰による仕入価格や諸経費の上昇に加え、過去に類を見ない鳥インフルエンザの流行による鶏卵価格の高騰など)

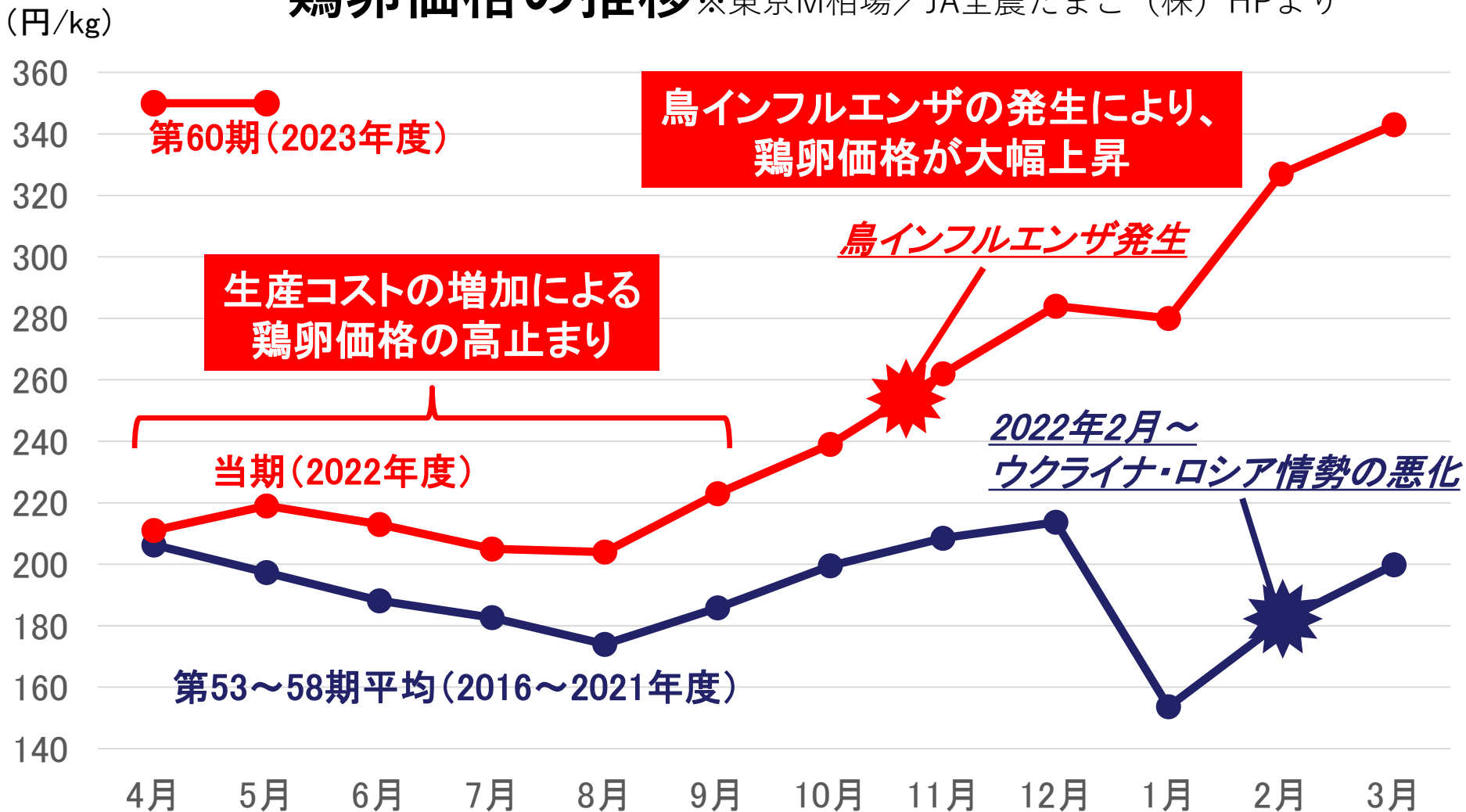
長期ビジョン『あじかんV30』

「需要創造」「利益構造改革」「経営品質向上」により『選ばれる企業』になる

“第12次中期経営計画”の展開

- (1) 利益構造改善への取り組み
- (2) 業務用食品事業の成長拡大
- (3) ヘルスフード事業、海外事業の拡大および
新規事業構想の立案
- (4) 経営品質の向上

鶏卵価格の推移 ※東京M相場/JA全農たまご(株)HPより



海外市場に向けて業務用食品を販売



新たな市場(サプリメント)へ挑戦

当期(2022年度)新発売

市販初のサプリメント

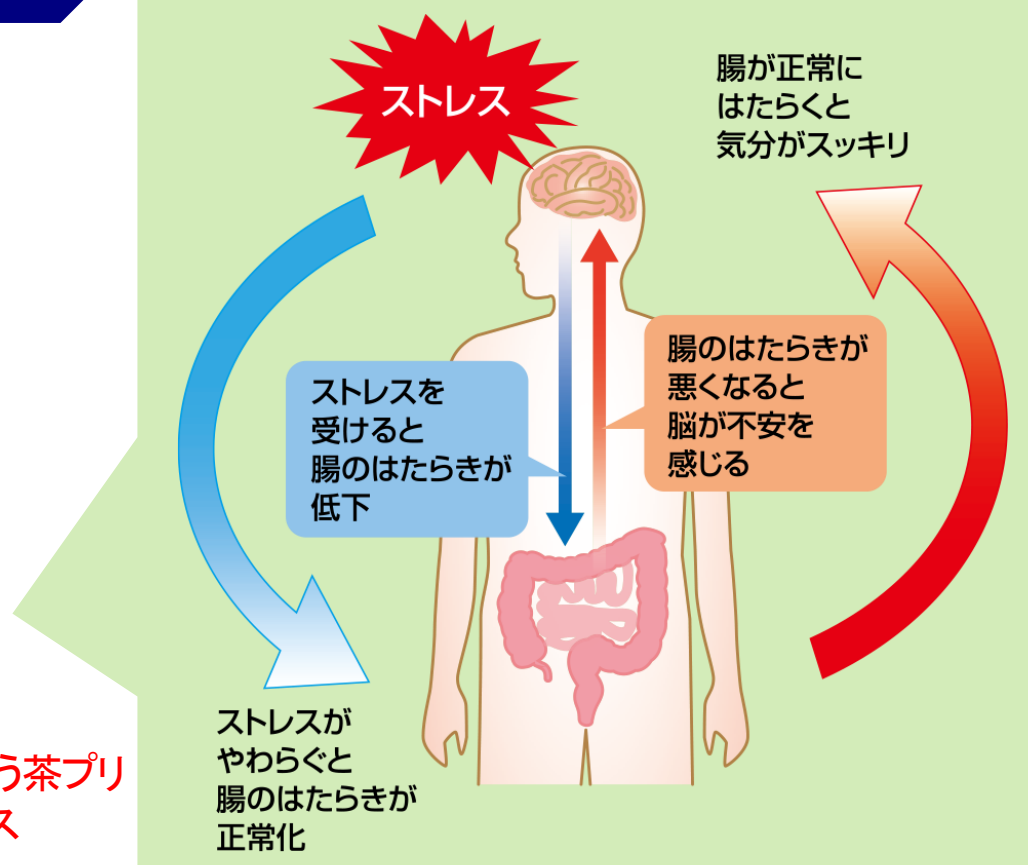


焙煎ごぼうサプリ
エラスチン+



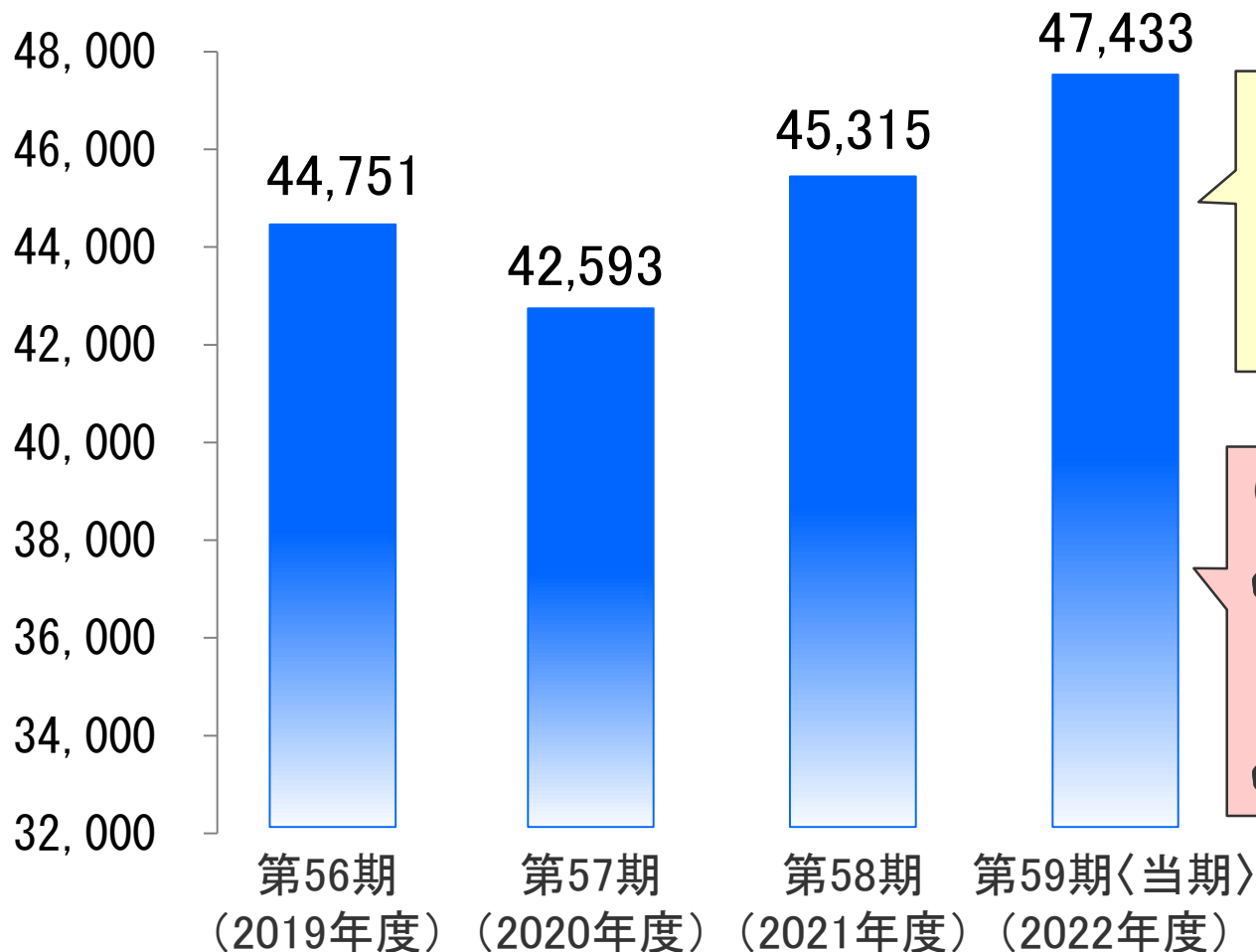
機能性表示食品ごぼう茶フリ
イチョウ葉プラス

腸脳相関・・・「腸内環境が脳へも影響する」といわれている



売上高の推移(連結)

(百万円)



(プラス要因)

- ✓ 弁当・外食・仕出しなどの業態が回復基調
- ✓ 価格改定

(マイナス要因)

- ✓ 通信販売で、テレビCM抑制による新規顧客の獲得減少
- ✓ 健康茶市場が一服

利益推移(連結)

(百万円)

1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0

営業利益

732

第56期
(2019年度)

631

第57期
(2020年度)

560

第58期
(2021年度)

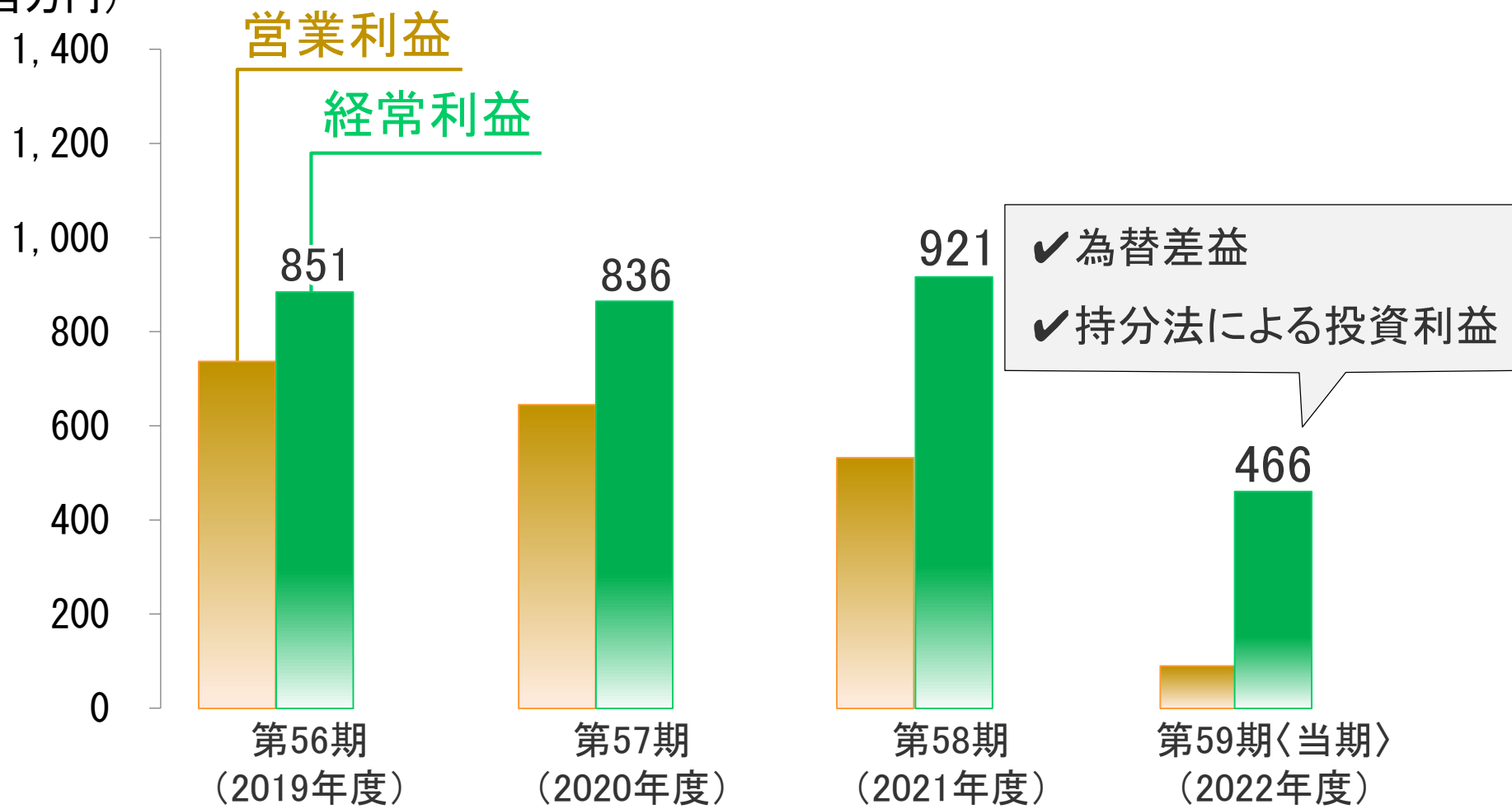
89

第59期<当期>
(2022年度)

✓ 主要原材料(鶏卵、すり身、干瓢)などの高騰

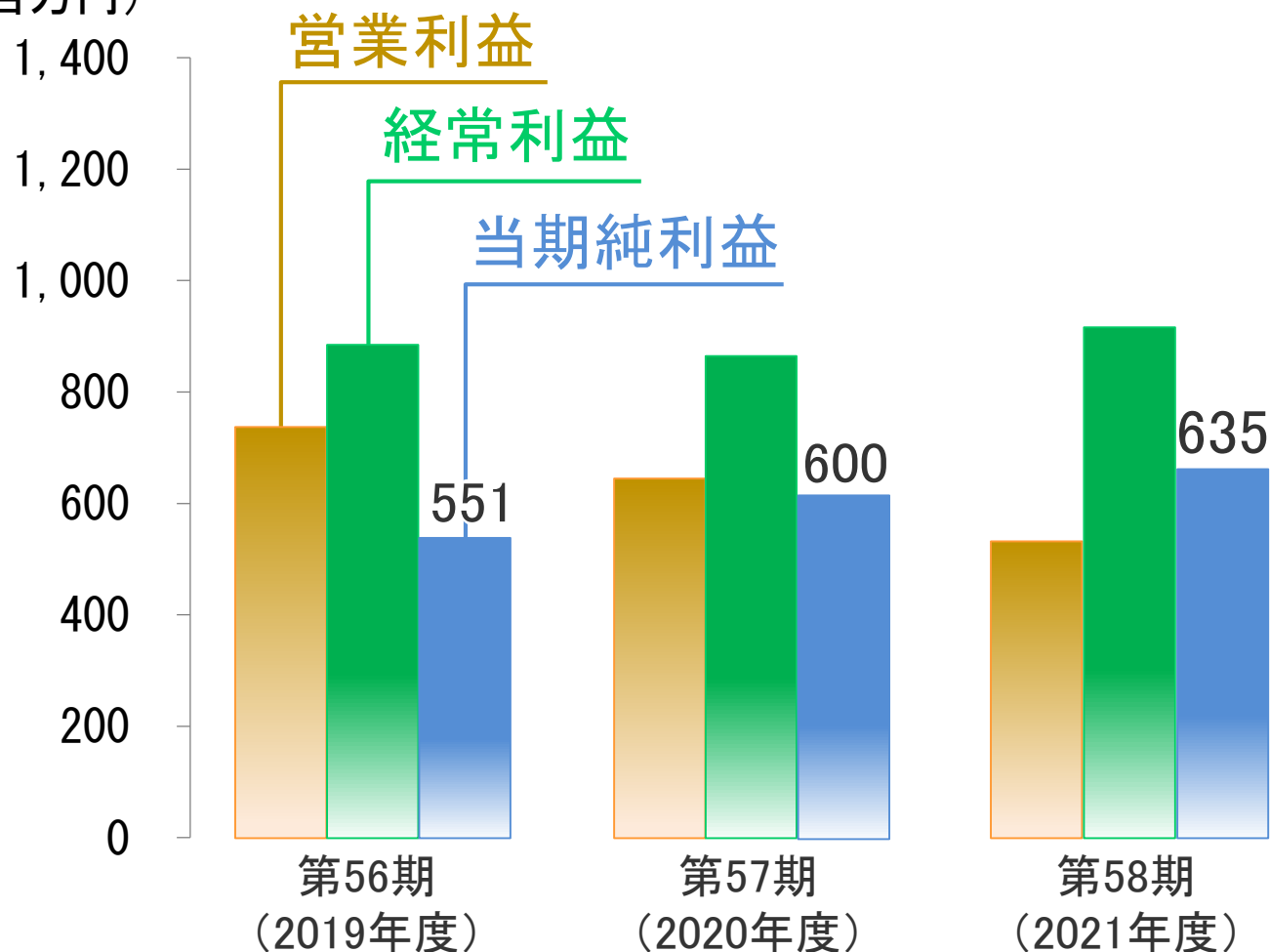
利益推移(連結)

(百万円)



利益推移(連結)

(百万円)



- ✓ 投資有価証券売却益
- ✓ 固定資産除却損

第59期 事業報告

(招集ご通知P. 15～29)

(交付書面非記載事項P. 1～17)

P. 15 設備投資等の状況

P. 15 資金調達の状況

P. 17 財産および損益の状況の推移

P. 18 重要な親会社および子会社の状況

P. 18 主要な事業内容

P. 19 主要な営業所および工場

P. 19 従業員の状況

P. 20 主要な借入先

P. 20 会社の株式に関する事項

P. 20 会社の新株予約権等に関する事項

P. 21-24 会社役員に関する事項

P. 25 会計監査人の状況

P. 26 連結貸借対照表

P. 27 連結損益計算書

P. 28 貸借対照表

P. 29 損益計算書

〈交付書面非記載事項〉

P. 1 会社の体制および方針

P. 4 連結株主資本等変動計算書

P. 5-11 連結注記表

P. 12 株主資本等変動計算書

P. 13-17 個別注記表

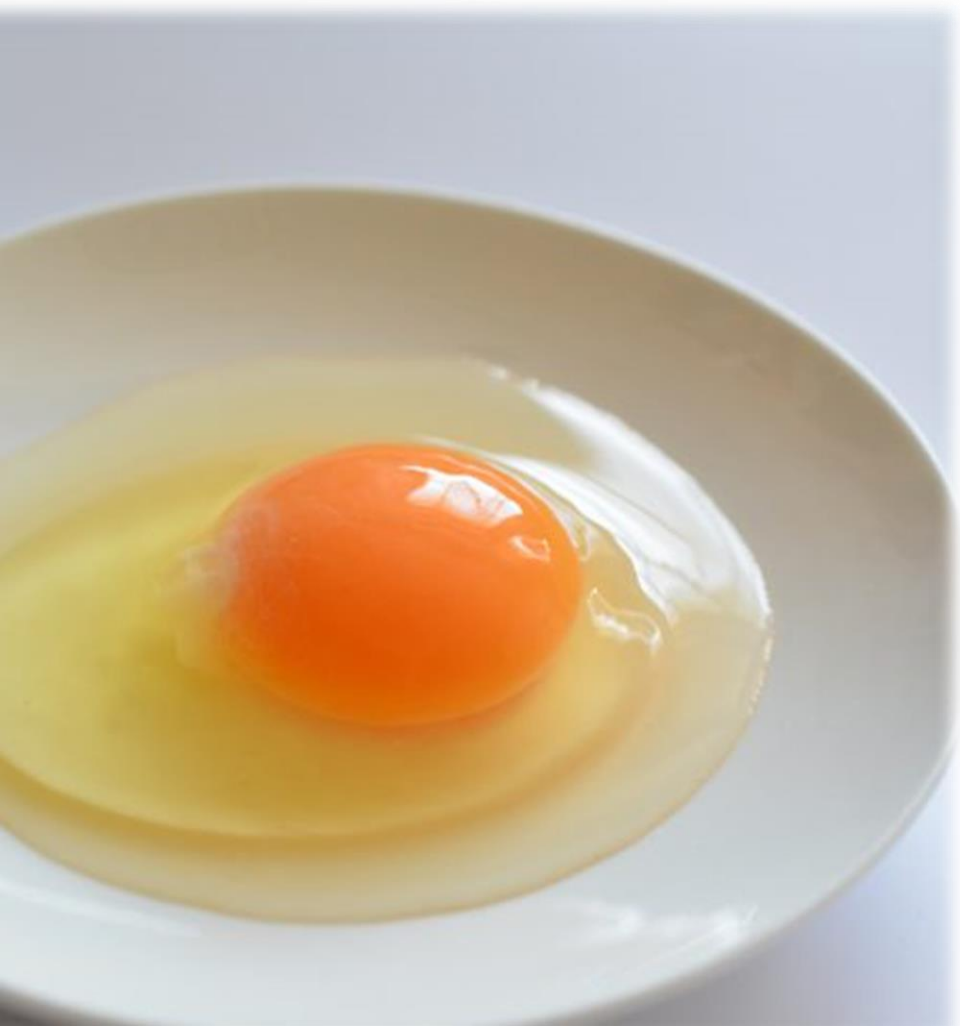
1. 原材料および諸経費の高騰に対する
円滑かつ迅速な対応

2. 業務用食品事業の利益構造改革の加速

3. 成長する新市場の開拓推進

4. 長期ビジョン「V30」の実現に向けた経営
基盤の強化

1. 原材料および諸経費の高騰に対する 円滑かつ迅速な対応



- ✓ 原料の安定確保
- ✓ 売価の適正化
- ✓ 鶏卵加工品の顧客ごとの
需給調整

2. 業務用食品事業の利益構造改革の加速



- ✓ 製造原価・仕入原価の低減
- ✓ 採算管理の強化
- ✓ 付加価値のある製品開発

3. 成長する新市場の開拓推進



- ✓「おいしい健康」をキーワードとしたごぼう関連製品の開発
- ✓ごぼう以外の素材の活用
- ✓海外エリアの販売促進活動の強化

4. 長期ビジョン「V30」の実現に向けた経営基盤の強化



- ✓ 品質保証活動の高度化
- ✓ IT化の推進
- ✓ 人事制度改革および人材開発の推進

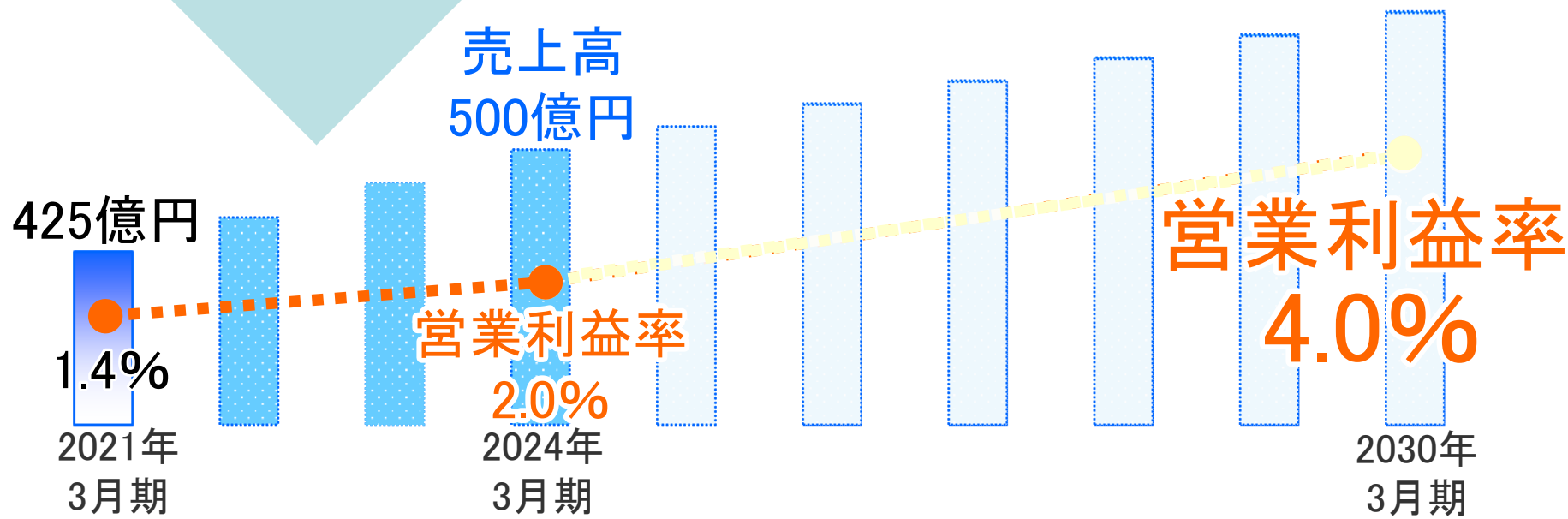
今後の事業展開

長期ビジョン“あじかんV30”

「需要創造」「利益構造改革」「経営品質向上」により、『選ばれる企業』になる

(2021年4月～2024年3月)

“第12次中期経営計画”



サステナビリティに関する取り組み



“ISO14001”の認証を返還し、
“SDGsに基づく活動”へと移行

サステナビリティに関する取り組み

	指標	2030年目標値(※)
食品ロスの削減	工場工程内ロス	50%削減
CO ₂ 排出量の低減	再生可能エネルギー比率	5%以上
	エネルギー使用量	工場20%低減 営業所10%低減
	車両燃料使用量 (ガソリン+軽油)	30%低減
プラスチック包材の削減	プラスチック包材削減率	10%削減
	新素材へ切り替え	30%以上

※削減や低減については、2019年度比での数値目標であります

サステナビリティに関する取り組み

食育と日本伝統の食文化の継承



✓ 日本の伝統食である
巻寿司の啓蒙活動

〈当期実績〉

- ・広島県立広島中学校
- ・井口明神小学校
- ・東海田幼稚園
- ・海田東小学校



サステナビリティに関する取り組み

人的資本



- ✓ 女性活躍と管理職登用の推進
- ✓ 高年齢者の活躍推進
- ✓ 障がい者雇用の推進
- ✓ 外国人人材活用的高度化

目標

実績
当期(2022年度)

管理職に占める
女性労働者の割合

2025年3月31日までに
5%以上(7名以上)

3.2%

お客さま・取引先・株主・従業員・地域社会に

「選ばれる企業」

『共存共栄』

需要創造

**利益構造
改革**

**経営品質
向上**